zoomセミナー

第1７回市民講座のご案内

　**臓器移植法を問い直す市民ネットワークでは、2012年６月より市民講座を開催してきました。本年は市民講座を始めて10年目になります。**

**今回の市民講座には、講師に児玉真美さんをお迎えします。児玉さんは当ネットワークの記念すべき第１回市民講座で講師を務めて下さいました。私たちが児玉さんを知ったのは彼女のブログ『アシュリー事件から生命倫理を考える』でした。そこには「安楽死・尊厳死・無益な治療論」をめぐる英語圏のニュースの数々が翻訳されて紹介されていました。臓器移植先進国と言われる国々で何が進行しているのか！そのブログから私たちは驚くべき事実を知ることが出来たのです。**

**この10年、日本でも命の線引きと切り捨ての実態は加速的に進行しています。10年間で引き起こされた様々な事件や医療現場での実態、臓器移植とのつながりについてもお話しして頂きます。**

**多くの方のご参加をお待ちいたします。**

![C:\Documents and Settings\amano\Local Settings\Temporary Internet Files\Content.IE5\FXBD5URT\MC900072631[1].gif]()



■日時：2021年11月６日（土）14時～16時

■講師：児玉真美さん（フリーライター）

◆講演タイトル

「加速していく命の線引きと切り捨て

――安楽死・『無益な治療』論・臓器移植のつながり」

【講師プロフィール】1956年生まれ。広島県在住。フリーライター。一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事。1987年生まれの長女に重症心身障害がある。単著に『アシュリー事件―メディカル・コントロールと新・優生思想の時代』（生活書院）、『死の自己決定権のゆくえ―尊厳死・「無益な治療」論・臓器移植』（大月書店）、『殺す親　殺させられる親―重い障害のある人の親の立場で考える尊厳死・意思決定・地域移行』（生活書院）、『私たちはふつうに老いることができない　高齢化する障害者家族』（大月書店）など。共著に『〈反延命〉主義の時代―安楽死・透析中止・トリアージ』（現代書館）、『見捨てられる〈いのち〉を考えるー京都ALS嘱託殺人事件と人工呼吸器トリアージから』（晶文社　2021年10月下旬刊行予定）。

![C:\Documents and Settings\amano\Local Settings\Temporary Internet Files\Content.IE5\FXBD5URT\MC900072631[1].gif]()![C:\Documents and Settings\amano\Local Settings\Temporary Internet Files\Content.IE5\FXBD5URT\MC900072631[1].gif]()

**●参加申し込み　（今回の市民講座は無料です。）**

**お名前、所属、e-mailアドレスを****abdcnet@gmail.com****までご連絡下さい。**

**〆切は2021年11月4日（木）、定員100名まで先着順。**

臓器移植法を問い直す市民ネットワーク

携帯：080(6532)0916　e-mail：abdcnet@gmail.com　ブログ：<http://blog.goo.ne.jp/abdnet>